

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【1班】

地区コミ	上甌地区コミュニティ協議会	参加人員	33人
開催日時	平成26年 5月30日（金） 14:00 ～ 15:40		
開催場所	上甌老人福祉センター		
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当
	谷津 由尚	○	記録
	瀬尾 和敬	—	
	江口 是彦	○	進行
	議員名	出欠	担当
	福田 俊一郎	○	
	福元 光一	○	
	徳永 武次	○	

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1、中甌地区内の県道改修について

《概要》

平成29年度に藺牟田瀬戸架橋が完成する。その後に交通渋滞、事故等が発生する可能性が大きいことが不安である。具体的な場所は、中津幼稚園の角と甌島神社の角。これらは以前から出している問題であり、青写真ができていないのかわからない。現状は一旦停止をして通行している状況。まちづくり懇話会で話しているが、決定打が見えない。現在の進捗状況を含め知りたい。将来観光地化が進み大型バスが通ったり、また、10tトラック等の通行の際は特に危険である。1件でも交通事故が出ないよう要望している。議会として頭の中に入れておいて欲しい。

◇ 市の建設政策課より県土木部へ現状について調査を行った。

県からは、「提案は、現道の拡幅による交通安全対策であるが、桑之浦里港線の本区間については、現道内での検討が行われ、平成23年度に路肩部のカラー舗装を行い、平成25年度には警察と協力し、車両を30キロ規制とし交通安全対策を行っている。また、平成26年度には歩行者等の安全を考慮し、ガードパイプの取り換えを計画しているところである」とのこと。

つまるところ県は、藺牟田瀬戸架橋が開通した後の交通状況を確認してからの判断要素が大きいと感じている。

◆ 必ず対向車はいる。一旦停止をしないと離合できない状況もある。極端に言えば大きな事故がおこらなければ、工事はできないのか、ということではないか。

この状況を県にはぜひわかってもらいたい。粘り強く市議会でもやってほしい。事故があつてからは遅い。声を大きくしてほしい。

◇ 今後の県に対する声を強くあげていく。

◆ すのさき荘（甌島神社）の角は歩道もない状態。車がいきなり来ると人は危ない。カーブの緩和をぜひ検討してほしい。

2、上甌診療所の施設改善と看護師等の確保について

《概要》

現在上甌診療所は、市当局の配慮により専従の医師が配置されて、町民の安全安心が確保されている。島外での受診は経済的な負担が多く、特に高齢者の通院が大変だった。

しかし、診療施設・設備の老朽化、看護師等の不足があり、今後、抜本的な改善が必要と感じている。休みがなく好感の持てる先生のため、患者が増えている。

串木野に行っていた人がこちらに受診にきている。このような状況から看護師不足が起きている。抜本的な改善が必要である。議会からの援護が必要。

- ◇ 甌島診療所の件で3月議会で質問した。総合病院をと言ったが、複数での医師体制がとれる病院ということで市長の答弁があった。医師も看護師も求人が大変な状況である。365日体制での医師も持たない。交代のできる環境をつくることも必要と思う。今後の質問等でも進めて行きたい。
- ◇ 看護師の確保や、看護師を支援する体制を整備中と聞いた。1歩前進と思う。今後常任委員会でも要望していききたい。
- ◆ 診療所の設備も整ってきたと感じているが、器具の更新をお願いしたい。先生も病気キャッチを早くできるようになる。機器の改善をしてほしい。総合病院は難しいとは思う。お金もかかるが、せめて機器の改善は要望したい。
- ◇ 働かれる人（看護師等）の環境改善をしてやらなければならないと思った。財政的な問題。
- ◇ 今回の逮捕事案等があり、市長としても根本的な対策を取らざるを得ないという判断をされると聞いている。急ピッチでの改善が行われると思う。（管理体制の強化を中心として）
- ◇ 現在、入院13名。夜間は看護師1名と助手1名（嘱託職員）の合計2名で動かれている。大変に苦勞をされていることを認識した。
- ◆ 市民病院は医師会だが、ここから期限を切って何名かの看護師の派遣を検討できないのか。検討して欲しい。
- ◇ 医師会の関係でいうと、甌島は薩摩郡の医師会で成り立っている。旧川内市は川内市のみ。ぜひ提案をしたい。
- ◇ 地域医療は廃れている状況がある。状況的に難しくなっているが、医師は大変に素晴らしい方なので、環境改善を含め検討していく必要性を感じた。診療所は昭和58年築。中身の機器の更新をやっていく必要があるが、即やるということにはならないと思う。
藺牟田瀬戸架橋完成等を機に、これらの整備を図らなければならないと思う。地域医療制度におくることが無いように進めて行きたい。
- ◆ こちらの設備にはリハビリ施設が無い。このようなことも考えての施設としてほしい。
- ◇ 本土の病院と連携した施設ができなければ、助成を考えなければならない。

3、水産振興策について

《概要》

- 今、一番検討されていないのではないかとと思われる。マグロの養殖は成功し、相当なメリットを出している。かつては、甌島周辺の魚価は良かった。現在では藻場も消失等で減少している。そこで、現在設置されている漁礁の調査をお願いしたい。具体的な場所は、矢崎・小島・揚倉の3ヶ所である。取る漁業から育てる漁業にしたい。過去釣れた魚が、現在釣れなくなった。浅場が多いので、漁礁にて魚の釣れる場所をつくって欲しい。年寄りの健康維持や観光振興にも結びつくと思う。離島対策として有効と思う。
- ◇ 主管課である林務水産課では、川内地区と甌島地区で漁礁調査を計画しているが、漁礁の数が多いため、長期的な調査で計画している。漁礁についての調査は、設置後の魚の集まり具合調査と、漁礁の埋没調査と大きく二つに分けられることから、本年度は県水産技術開発センターの水中ロボットによる漁礁調査を要望している。しかしながら県内の要望が多いことから、本市が選択されるかは不明な状態である。本市の水産振興のため、今後も漁礁調査は検討していく。
 - ◇ 過去（村時代）は、漁礁を入れた業者が、後々に漁礁調査をやっていたこともある。一般的には静穏な湾の中の漁礁は埋もれている可能性がある。
 - ◆ 漁礁はいいことと思うが金がかかる。ここは昔から海藻がいっぱいあったところ。今は消失している。昔は海藻を干して火薬の原料とした事業もあった。海藻の種を植え付けるような検討もしてほしい。

◇ 次期委員会で提案をさせていただく。

◆ ご指摘の通り、3ヶ所の漁礁は埋もれている可能性がある。魚探で見ても不鮮明な状態である。

今は観光客の皆さんに喜んでいただけるような漁場が無くなっている。何とかお願いをする。昭和58年に漁礁を入れた。最近はそこに行っても魚は釣れないし、いない。埋もれかかっている可能性が非常に高い。平成11年に埋没の確認をしたら、まだあるということだったが、明らかに埋没している。甑の観光の一つである魚を釣らせる観光⇒漁業で生活できる人が増える。このことが漁業後継者を育て、あるいはIターン、Uターンにも直結すると思う。

4、その他

◆ 体協の会長をしているが、体育館（上甑コミュニティセンター・アリーナ）の雨漏りがしている。25年度も予算がつかなかった。

大雨が降ると何ヶ所からか漏れる。コミュニティセンターのアリーナは平成5年に建築。

教育委員会に言ったが予算がついてないとのことだった。早めに対応してほしい。後押しをしてほしい。

◆ バスが里港から出ているが、高速船が入ってくる9時にバスが発車する仕組み。そうすると高速船が遅れた場合、バスは15分遅れる。そうすると何もかもが遅れる。

◇ なかなか難しい問題だが、いたし方ないと思う。一応問題提起はしたい。

◆ 寒い中で10分～15分待たされると大変厳しい。高速船を定刻に着けるように、出る時間を調整して欲しい。

◆ 先月の観光物産協会でもこの話は出た。昨日は10分遅れ、本日は5分遅れである。

なぜ定刻で着かないのか？根本的な問題である。遅延頻度が常態化している。時化てはいないし、遅れるのであれば、ダイヤの見直しをしてほしい。

◆ 原発の避難の件でいろいろと騒がれている。甑島の避難計画についてはどのように考えているか。原発が見える。このことを意識してほしい。

◇ 里は船で長浜に避難することになっているが、交通弱者の避難方法については、今後も検討しなければならない。

【要望のまとめ】

1、診療所の勤務医（看護師含む）の環境改善について

- ・他医療機関からの協力等で、医師の休日の確保等できないか。
- ・看護師および助手は、特に夜間帯は2名で対応されている。もしもの場合は対応不可能。また嘱託職員で対応されているが、勤務環境や賃金等を考えると、格差があってはならない。したがって正職員で対応すべきことである。至急検討要。

2、体育館（上甑コミュニティセンターアリーナ）の雨漏りの修理

3、高速船の定刻運行が守れないことが常態化となっていることの改善